



男性より女性の方がPTSD(外傷後ストレス障害)になりやすいそうです。男性の場合、避難所ではなにかしらの力仕事があり、活躍できる場面が多く、割と冗談とかを言い合ったりしてストレスの発散がしやすいようです。でも女性の場合は、こんな非常時にそんな冗談を言って、みたいな部分があります。近所の奥さんがどう言ったとか、女性独特の世界があったりしますね。女性はストレスをいかに解消できるかが大切です。PTSDの影響が10年以上たってから出てくる人もいます。

また、女性の仕事探しは大変です。男性優先になるので、



深刻な金銭問題を抱えていても、被災地ではアルバイトでさえ簡単には探せません。あと、私たちの年代で被災したら、恋

人の安否が気になるようです。男の人は、「自分は大丈夫だから」という感じなのですが、女性の悩みとしては、恋人はどこに行っちゃったんだろう、連絡が欲しい…と。生きていてほしいけれども、生きていたとしてもどこに行ってしまったんだろうという心配です。

女性は被災すると、たくさんの女性特有の問題や悩みを抱える場合が多いなと感じました。

被災者は、全員同じではありません。女性と男性がいます。大人と子ども、幼児やお年寄りが出て、性格も、考え方もいろいろな個性があります。ボランティアをはじめ、それぞれに合わせたきめ細かな対応が必要だと、圭奈さんは話してくれました。

現在の「防災」は男性が中心になってつくられていると言わざるを得ません。子ども、女性、高齢者、病気の方、障害がある方、外国人など、さまざまな立場で「防災」を考え直す時期が来ているのではないのでしょうか。



### 関連著書

一人でもできる  
**地震・災害ボランティア活動入門**

角田四郎著 ふきのとう書房 ¥1,200

**哀しみをつめて**

新潟中越地震災害ボランティア活動ドキュメント

福生ボランティア連絡協議会編 ふきのとう書房 ¥1,500

### 男女共同参画に関する市民・意識実態調査報告書がまとまりました

この調査は市内在住の20歳以上の男女1,500人を対象とし、市民と協働してまとめを行いました。

福生市ホームページ  
(「くらし」→「男女共同参画」)、  
市内各図書館・公民館でご覧いただくことができます。



本誌は、市民がつくる市民のための男女協働参画情報誌です。多くの市民の方とつくりあげていきたいと思っています。ご感想をはじめ、今後特集で取り上げてほしいテーマなどのご意見・ご要望をお気軽にお寄せください。ホームページからもお送りいただけます。トップページ左側の市民のご意見箱をクリック、メールフォームをご利用ください。

発行：

**福生市 生活環境部 協働推進課**

〒197-8501 東京都福生市本町5番地  
電話 042-551-1511  
(内線) 2552・2553  
<http://www.city.fussa.tokyo.jp/>

市民  
編集員

- 寺崎 敏枝
- 柏倉 利明
- Kay

企画  
編集

NPO法人  
NAFA子育て環境支援センター

### 市民編集員募集！

「あなたとわたし」の編集員を募集しています。興味のある方は、協働推進課までご連絡ください。

本紙では広告を掲載しています。

本紙では広告を掲載しています。